

平成25年12月12日

第9号

東京都立第三商業高等学校
オフィシャルニュース



商業教育とコンプライアンス

校長 浦部 利明

この秋は、有名ホテルのレストランをはじめ、食品偽装が大きな社会問題になりました。あまりにも不誠実で許しがたい行為であり、多くの消費者が強い憤りを感じているはずです。江戸時代の石田梅岩という思想家は、自分が京都の呉服屋で商いをした経験から、「眞の商人は、先も立ち、我も立つことを思うなり」、本当の実業家というものは、まず相手の役に立ち、そして自分の役に立つことを考えるものだという、今日の企業倫理に通じる言葉を残しています。こうした先人の名言にもあるように、三商の商業教育では利益をめざしながら、社会の人々の生活向上に役立つビジネスモデルを追究しています。また、日々の学校生活を通じて、社会ルールや法令・規則を守る大切さ（コンプライアンス）についても指導を重ねています。ビジネスを通じて社会に貢献できる人材を育成することが三商の使命です。

三商の授業を紹介します（第1回 ビジネス英語）



3年生になると、「課題研究」（商業高校の「総合的な学習の時間」です）から興味のある講座を1つ選択します。その中でも人気なのが、活きた英会話を学ぶ「ビジネス英語」です。この授業では教科書を使わず、また難しい文法も扱いません。海外で通用するインターナショナル・イングリッシュを使えるようになることを目的に、インドネシアから日本の大学に留学しているアンドレさんを講師に招いて、挨拶や



自己紹介から日常会話まで実践的に学んでいます。この日はクリスマスに欠かせないパーティークラッカーと一緒に作りながら、インドネシアの流行の食べ物や人気タレントの話題で盛り上りました（当然、授業中は全部英語です）。

三商お宝鑑定団（第6回）

～伝統ある三商のお宝をご紹介します～

故吉澤徹先生追悼録

先日、三商の3期生（昭和10年卒業）のご遺族である高橋寿男様から学校に寄贈されました。これは初代校長の吉澤徹先生が昭和14年に享年66歳で逝去されたことを悼んで、昭和15年に教職員と卒業生有志が出版したもので、全ページ謄写版刷りの和綴じの冊子です。初代校長の吉澤徹先生は教職員や生徒から深く敬愛された教育者であり、没後50年にわたって平成の時代になるまで墓参会が続けられました。三商の教職員や卒業生の深い絆が感じられます。



鑑定結果 ★★★



一緒に寄贈していただいた寄書きの上段右から3人目には5代校長清田栄一先生、下段右から3人目には寄贈者の高橋寿男様のお父様である高橋寿太郎氏の署名が見えます。

大学合格者による座談会

4年制大学に合格した3年生2人にお話をうかがいました。

＜出席者＞

山岸さん（日本大学 経済学部）

吉野さん（中央大学 商学部）

司会 進路指導部 池上先生



左から、山岸さん、吉野さん、池上先生

司会 合格おめでとうございます。本当によかったです。ところで、いつごろから大学進学を志望していたのですか。

山岸 周囲に大学進学者が多くて、中学生のころから大学に行きたいと思っていました。

吉野 兄が大学に進学したので、私も中学生のころから大学に行くのが当然だと思っていました。

司会 進学先の大学や学部を決めたのは、いつごろですか。

山岸 2年生の秋ごろです。

吉野 三商に入学したときから、中央大学に進学したいと決めていました。むしろ、三商への進学を選んだのは、指定校に中央大学があるからです。

司会 指定校推薦のメリットは何だと思いますか。

山岸 高校から推薦されれば、間違いなく合格できる確実さです。合格できるかどうか心配する必要のないことがうれしいです。

吉野 1回の試験に運命を賭ける一般入試とは違い、日々の努力の積み重ねが評価されることです。私はコツコツ努力することが得意なので、指定校推薦を選びました。

司会 二人の進学先の大学の推薦基準は比較的高い方ですか、これをクリアするためにどんな努力しましたか。

山岸 普段の定期考査の準備に努力しました。少なくとも2週間前にはノートを整理して勉強を始め、わからないことがあると職員室に行って先生に納得できるまで教えてもらいました。

吉野 推荐基準の中でも英語の評定が高かったので、英語の勉強だけは頑張りました。それ以外には、どの授業でも積極的に参加し、提出物は丁寧に仕上げ必ず提出期限を守りました。

司会 ところで、商業高校から大学の商学部や経済学部に進学する際に有利な点は何ですか。

山岸 私たちは簿記を3年間勉強してから進学するので、簿記をまったく勉強してこなかった普通科からの進学者に比べて、大学の勉強に余裕があると思います。

吉野 高校時代に日商簿記検定などの資格を取っておくと、大学での単位免除(簿記の授業を受けなくてもよいなど)の優遇措置があります。

司会 大学生になったら、どんなことをやりたいですか。

山岸 高校時代にできなかったアルバイトをやってみたいです。

吉野 サークル活動をやりたいです。これまでにやってきたダンスにこだわらず、活発なサークルに入りたいです。

司会 文部科学省は若者の海外留学に力を入れようとしていますが、皆さんは大学入学後、留学をしてみたいと思いますか。

山岸 大学の交換留学の制度を利用して、中国の大学に留学して貿易について勉強したいと思っています。

吉野 中学時代にカナダでホームステイをした経験があるので、今度はカナダに留学したいと思います。



司会 大学卒業後のことは考えていますか。

山岸 おもちゃが好きなので、玩具メーカーに就職したいと考えています。日本のメーカーの多くが中国に工場があるので、中国に留学して中国語に磨きをかけ就職に結び付けたいです。

吉野 マーケティングの授業で貿易の面白さを知りました。大学入学後はもっと英語を勉強して、貿易商社に就職したいと考えています。



司会 ところで皆さん、中学時代にどんな理由で三商を進学先に選んだのですか。

山岸 親戚に会社経営など自営業が多かったので、以前から簿記などの経理事務に興味がありました。そこで簿記を勉強して資格も取れる商業高校を選んだのですが、中でも大学の指定校推薦がいっぱいある三商にターゲットを絞りました。

吉野 普通科高校とは違い、簿記や情報処理の資格を取るので商業高校に進学するつもりでした。高校入学後はダンス部に入りましたので、商業高校の中でも練習が活発でやさしそうな先輩がいる三商を選びました。もちろん、指定校推薦で中央大学があったのも大きな理由です。

司会 それでは、今日はどうもありがとうございました。皆さんの大学進学後の活躍を期待しています。



発行 東京都立第三商業高等学校 全日制課程

住所 〒135-0044 東京都江東区越中島3-3-1

電話 03(3641)0380 FAX 03(3641)0879

URL <http://www.daisanshogyo-h.metro.tokyo.jp/>